

八戸市多文化共生推進プラン策定に 向けた実態調査の結果報告書

令和8年1月

八戸市

目次

第1章	調査の概要	1
1. 1	調査の目的	1
1. 2	調査の設計	1
第2章	調査結果の要点	2
2. 1	市民アンケート調査結果	2
2. 2	外国人を受け入れている事業所・教育機関の現状	3
第3章	市民アンケート調査結果	4
3. 1	日本人アンケート	4
3. 2	外国人アンケート	10
第4章	外国人を受け入れている事業所・教育機関の現状	14
4. 1	市内事業所アンケート結果	14
4. 2	事業所・教育機関ヒアリング結果	17
第5章	アンケート単純集計結果	19
5. 1	日本人住民アンケート	19
5. 2	外国人住民アンケート	28
5. 3	事業所アンケート	38

第1章 調査の概要

1.1 調査の目的

本調査は、八戸市多文化共生推進プランの策定にあたり、八戸市における多文化共生の現状と課題を把握し、施策検討の基礎資料とすることを目的として実施した。

1.2 調査の設計

(1) 調査対象、回答数及び回答率

区分	調査対象	対象総数	回答数	回答率
日本人住民	市内に住所を有する満18歳以上の市民及び市政モニター	604件	310件	51.3%
外国人住民	市内に住所を有する満18歳以上の外国人住民	486件	179件	36.8%
事業所	外国人材を雇用している事業所(特定技能雇用機関及び介護事業所)	85件	43件	50.6%

(2) 調査方法

- 各対象者に対し依頼文を郵送し、Google フォームにより回答を収集した。
- 日本人住民アンケートについては、高齢者の割合が高いことを鑑み、紙（郵送）回答を併用し回答率の向上を図った。
- 外国人住民アンケートについては、多言語（やさしい日本語、英語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、ミャンマー語）で実施した。
- アンケート調査のほか、市内事業所6件、教育機関1校へのヒアリングを実施した。

(3) 調査期間

令和7年9月16日（火）～9月30日（火）

第2章 調査結果の要点

2.1 市民アンケート調査結果

日本人住民と外国人住民の意識には、多文化共生の現状認識において大きな乖離が見られる一方、双方が言葉の壁や文化の違いを課題として認識している点は共通している。外国人住民の定住意欲は高く、日本人住民も計画の方向性には概ね賛同しているものの、生活習慣の違いやコミュニケーションに対する不安が根強い。

回答者の属性

- ・日本人住民は50代以上が全体の約6割を占め、高齢層の回答が多い傾向にある。対照的に、外国人住民は20代(46.9%)と30代(27.9%)で全体の約4分の3を占めており、現役の若年層が中心である。
- ・国籍別ではインドネシア(26.3%)、フィリピン(21.2%)、ベトナム(17.9%)の順に多く、在留資格は「技能実習」と「特定技能1号」で6割以上を占める。

多文化共生の意識

- ・日本人住民の6割以上がプランの方向性に「賛同」「やや賛同」しており、市の考え方は概ね支持されているが、外国人住民が増えることに対して「漠然とした不安を感じる」割合は53.1%と過半数を占める。
- ・「日本人と外国人が協力し合う社会が実現しているか」という問い合わせに対する認識のギャップが顕著である。「そう思う」と回答した外国人住民は71.5%に達する一方、日本人住民はわずか8.7%にとどまり、現状認識に顕著な乖離が見られる。

生活上の課題とニーズ

- ・日本人住民が共生に関して不安や懸念を感じる分野として、「言葉の壁(コミュニケーションの難しさ)」が79.3%で最も高く、次いで「文化の違い(食文化、生活習慣など)」が69.2%、「治安・風紀」が66.6%であった。
- ・外国人住民においても、「生活習慣や文化の違い」への戸惑いが34.6%で最多となり、「日本語学習」への不安も24.0%見られた。日本語能力に関しては、「聞く・話す」能力に比べ、「読む・書く」能力への苦手意識が強く、特に「ほとんど読めない」または「簡単な文章なら少し読める」層の割合が高いことから、行政情報の取得等に支障が出ている可能性がある。
- ・外国人住民の70.4%が日本人との交流イベントへの参加を希望しており、地域交流への意欲は非常に高い。
- ・一方、日本人住民が外国人住民に期待することとしては、「日本の習慣や文化を理解し、ルールを守って日本人と良好な関係をつくる」が73.4%で最多であり、交流よりもまずは社会適応を求める傾向が強い。

2.2 外国人を受け入れている事業所・教育機関の現状

市内事業所では外国人材が労働力として不可欠な存在となっているが、日本語教育や生活支援が企業の自助努力に委ねられており、負担となっている実態が明らかになった。

教育機関では、個別の配慮や支援員の配置が行われているものの、継続的な支援に向けた制度の柔軟な運用が求められている。

事業所の現状

- ・回答事業所の業種は「福祉・介護」と「製造業」が各 23.3%で最も多く、次いで「建設業」が 20.9%であった。
- ・外国人材雇用の効果として「人材確保の安定化」を挙げた事業所は 86.0%に達し、地域産業の維持に不可欠となっている。
- ・雇用における課題として「コミュニケーション」が 62.8%と最も高く、次いで「生活支援」が 46.5%、「離職防止」が 39.5%となっている。
- ・日本語教育の実施状況については、「自習」が 67.4%を占める一方、社内実施や外部委託などの組織的支援は約 4 分の 1 にとどまり、市内の日本語教室利用も 1 割未満と低調である。

教育機関等の現状

- ・ヒアリング調査によると、日本語指導が必要な児童生徒に対し、翻訳機などの ICT ツール活用や支援員の配置が行われている。
- ・宗教上の理由（食事や着替え等）への配慮も実施されている。

行政への期待

- ・事業所が市に求める取組として、「日本語教育」が 58.1%、「住宅・生活支援」が 55.8%と共に高く、企業の自助努力だけでは対応しきれない現状がうかがえる。
- ・「生活支援の相談窓口設置」への要望も 39.5%あり、行政による公的なサポート体制の構築が強く求められている。
- ・教育機関からは、支援が必要な児童に対し継続的なサポートが可能となるよう、支援時間の拡充や柔軟な運用を求める要望が挙がっている。

第3章 市民アンケート調査結果

3.1 日本人アンケート

(1) 回答者の属性

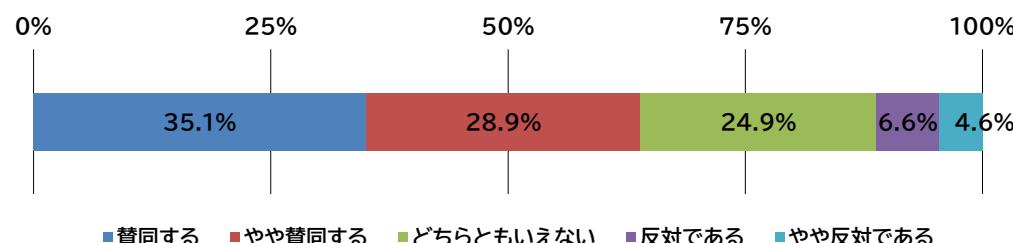
- 回答方法は郵送による回答が 64.8%、Google フォームによる回答が 35.2% であった。
- 性別は男女で同程度（約5割）、年代別では 70 代以上が最も多く（29.6%）、次いで 60 代（19.2%）、50 代（17.9%）と続き、50 代以上が全体の約6割を占める。
- 最終学歴は「高等学校卒業」が半数近くを占め、職業別では「会社員」（36.3%）、「無職」（22.5%）、「パート・アルバイト」（13.4%）の順となっている。

(2) 分析結果

① プラン策定の方向性に対する評価

- プランの方向性に「賛同」「やや賛同」が 64.0% で、多文化共生社会の実現に向けた市の考え方は概ね支持されている。
- 「どちらともいえない」が 24.9% を占め、具体的な取組が見えにくい層への丁寧な周知と理解促進が課題である。

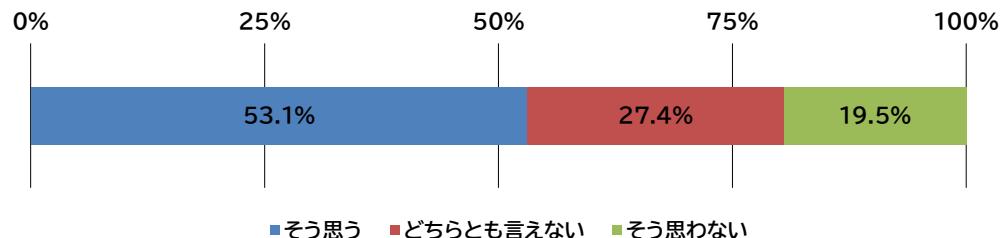
日本人住民アンケート Q18
八戸市では、「共感」「共生」「協働」「共創」の4つの考えに基づいて外国人との共生社会の実現に向けたプランの策定を検討しています。
日本人住民と外国人住民が、
【共感】お互いの文化や相手の立場を理解し合う
【共生】対等な関係を構築し、地域で共に暮らす
【協働】一人ひとりがまちをつくる主役となって活躍する
【共創】みんなで協力して新しい価値を生み出し共有する
この考え方についてどう思いますか。



② 外国人住民が増えることについての不安感

- 「漠然とした不安を感じる」との回答が 53.1%と過半数を占め、市民の心理的な抵抗感が存在する。

日本人住民アンケート Q10
市内に外国人が増えることへの影響について、どう思いますか。それぞれの項目についてお答えください。
⑧ 外国人住民が増えることについて漠然とした不安を感じる



③ 外国人との交流経験別にみる不安感の状況（クロス集計）

- 外国人との交流経験の有無により、不安感の程度に差がある。
- 不安解消には、情報提供に加え、日本人と外国人が直接触れ合う交流機会の創出も有効と思われる。

日本人住民アンケート Q6

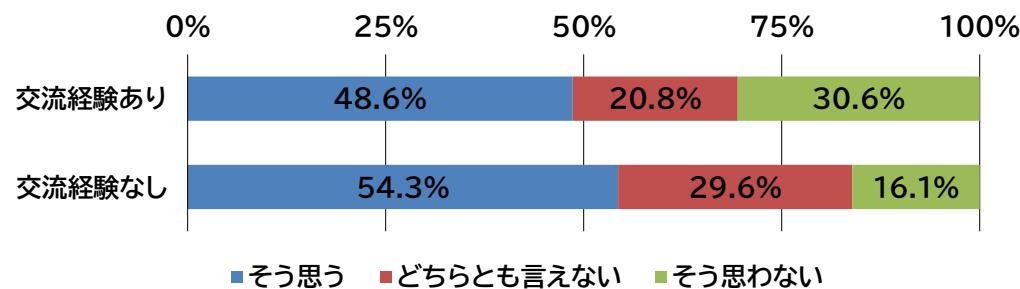
あなたは日常的に外国人との交流がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。
(過去の経験も含みます)

※A～C のように回答した場合は「交流経験なし」、それ以外の回答は「交流経験あり」として集計
A：外国人の知り合いはいないし、つきあいもない B：店や町で見かける C：A と B を選択

日本人住民アンケート Q10

市内に外国人が増えることへの影響について、どう思いますか。それぞれの項目についてお答えください。

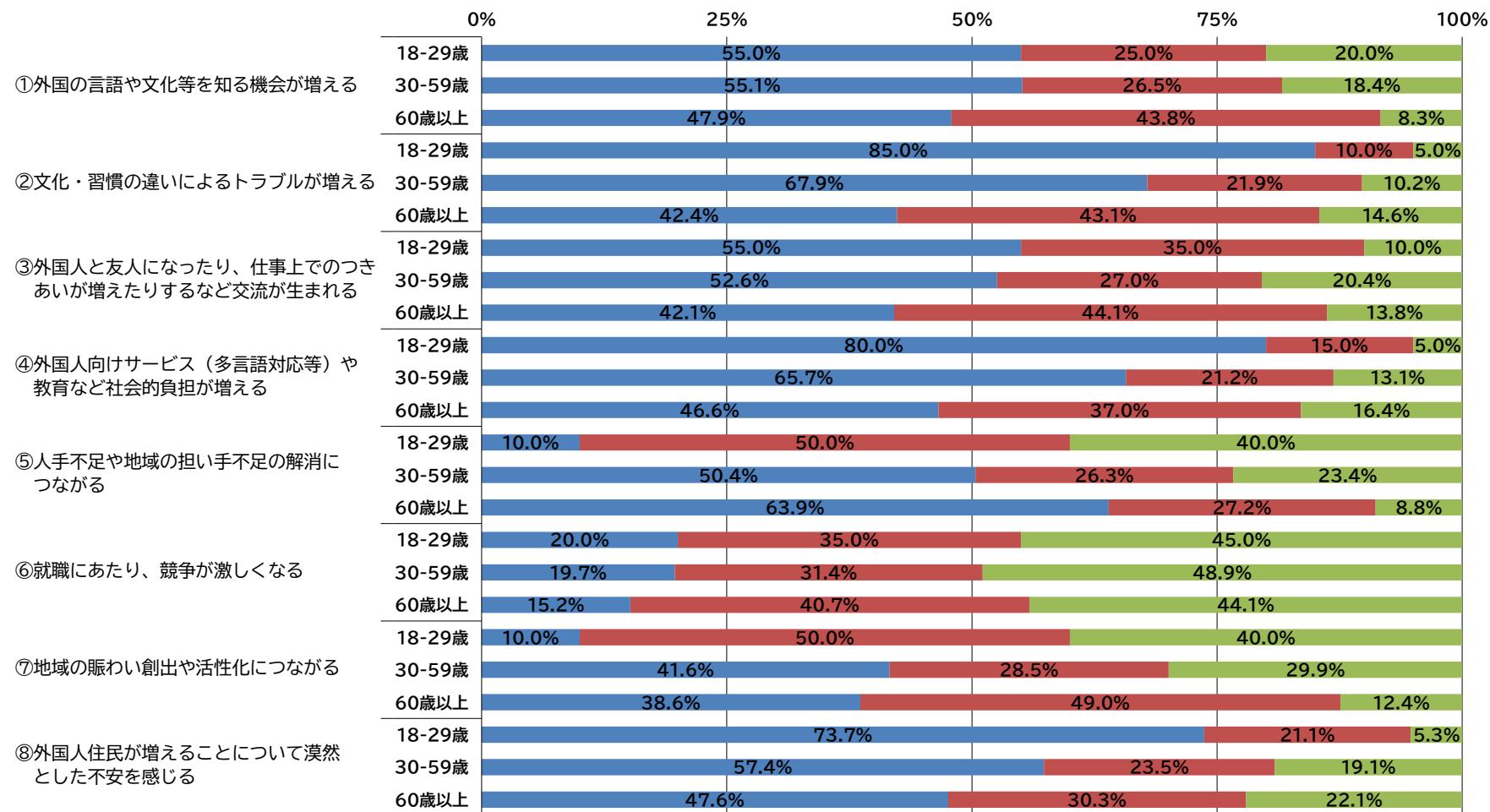
⑧ 外国人住民が増えることについて漠然とした不安を感じる



④ 年代別にみる外国人の増加に伴う影響に対する認識（クロス集計）

- ・若年層ほど、外国人の増加に対してより強い不安や懸念を抱く傾向にある。（設問②、④、⑧）
- ・一方で、高齢層は不安や懸念があるものの、人手不足や地域の担い手不足の解消に期待を寄せている傾向にある。（設問⑤）

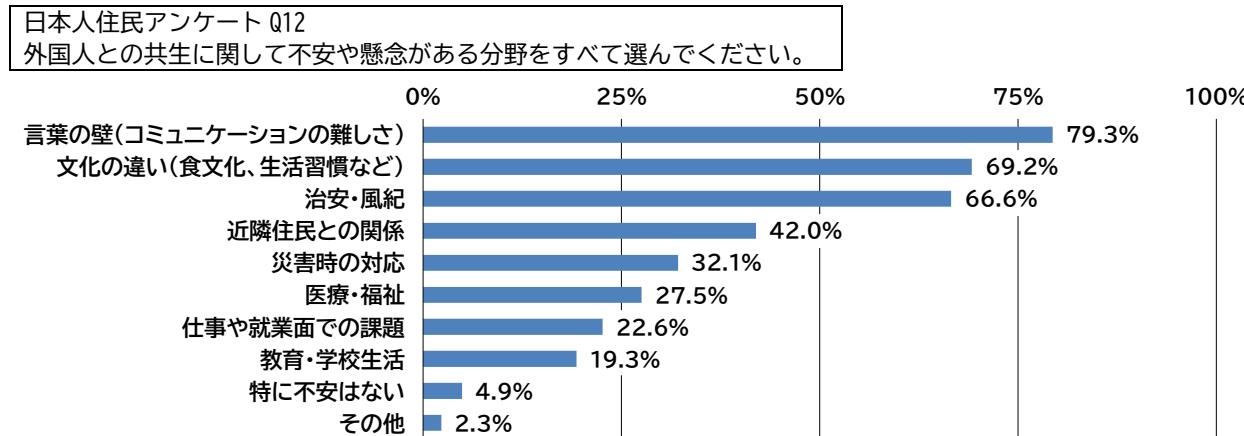
日本人住民アンケート Q2 あなたの年齢を教えてください。 ※10代及び20代の回答者数が少ないことを考慮し、3つの階層に統合して集計	日本人住民アンケート Q10 市内に外国人が増えることへの影響について、どう思いますか。それぞれの項目についてお答えください。
---	--



■ そう思う ■ どちらとも言えない ■ そう思わない

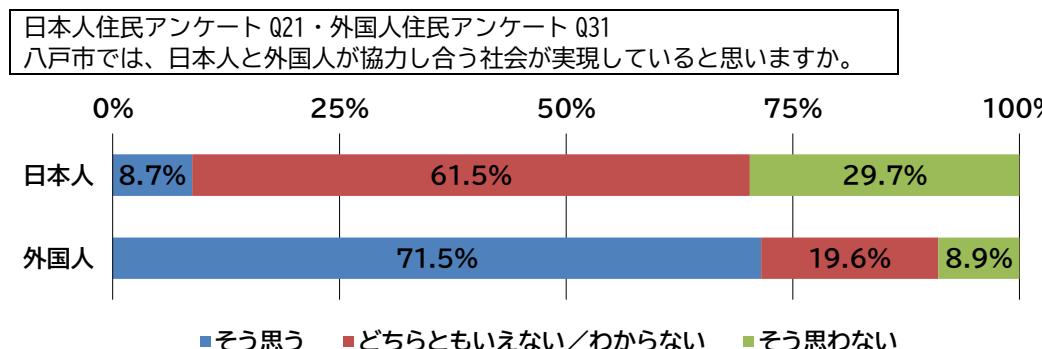
⑤ 共生に関して不安や懸念がある分野

- ・「言葉の壁」、「文化の違い」、「治安・風紀」に対する不安や懸念が多く挙げられた。
- ・日本語教育や生活ルールの周知が懸念の解消に有効と思われる。



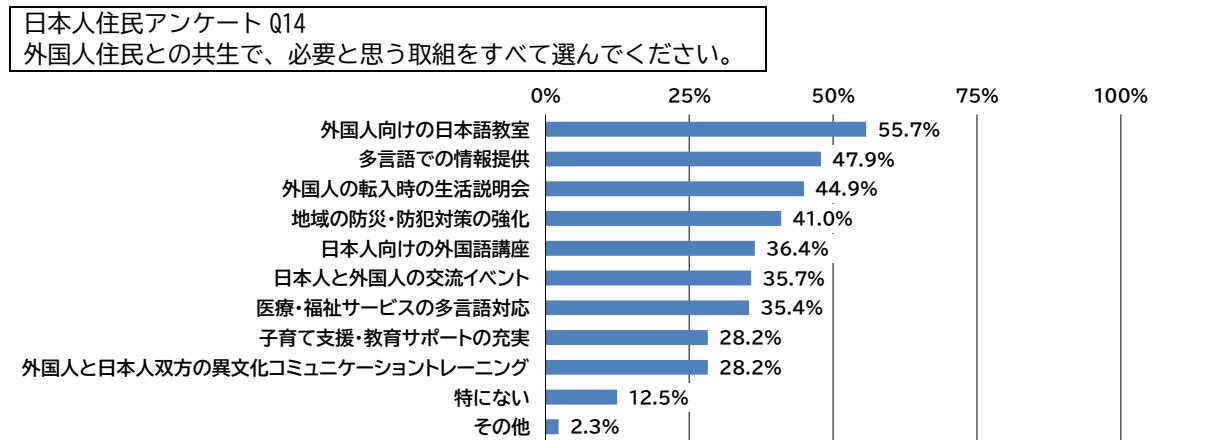
⑥ 「日本人と外国人が協力し合う社会」の実現に対する認識

- ・日本人と外国人が協力し合う社会が実現していると思うと回答した日本人は8.7%であったのに対し、外国人は71.5%と、現状認識に顕著な乖離がある。
- ・今後の多文化共生施策の展開により、認識の乖離を解消していくことが必要と思われる。



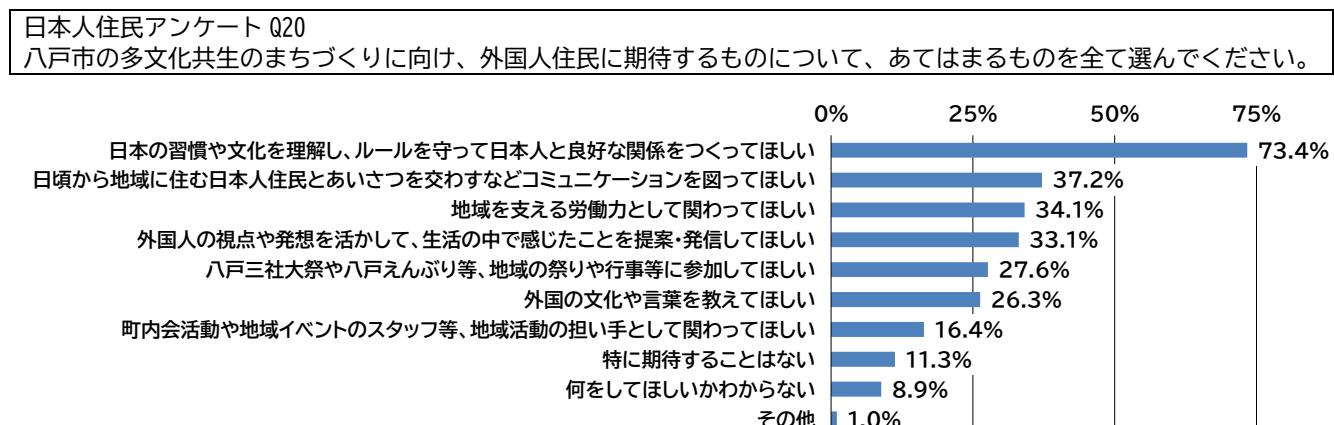
⑦ 外国人との共生で必要と思う取組

- 「⑤共生に関して不安や懸念がある分野」の上位項目と関連がある、「外国人向けの日本語教室」、「多言語での情報提供」など、コミュニケーション支援や安心安全な生活環境の整備が強く求められている。
- 上記を優先課題としつつ、日本人への語学講座や交流イベントの開催など、双方向の歩み寄りを促す施策についても比較的多くの日本人から必要とされている。



⑧ 外国人住民に期待すること

- 「日本の習慣理解とルール順守」が突出しており、生活ルールの周知等により市民の安心感を醸成することが課題である。



3.2 外国人アンケート

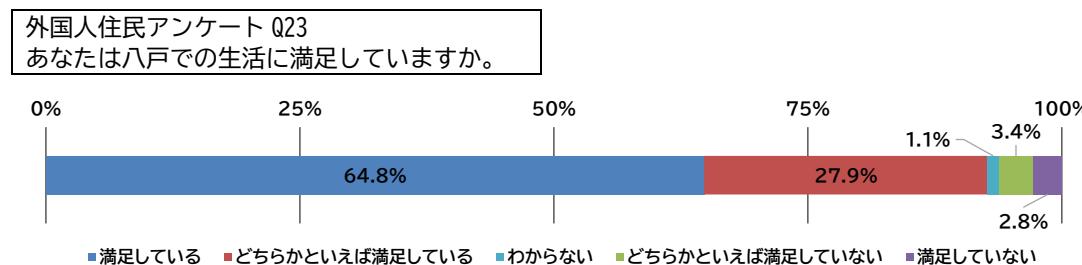
(1) 回答者の属性

- 性別は男性が6割強、女性が4割弱であり、年代別では20代が最も多く(46.9%)、次いで30代(27.9%)となっており、20~30代の若年層が全体の約4分の3を占める。
- 国籍別では「インドネシア」(26.3%)、「フィリピン」(21.2%)、「ベトナム」(17.9%)の順に多い。
- 在留資格は「技能実習」と「特定技能1号」で全体の6割以上を占める。

(2) 分析結果

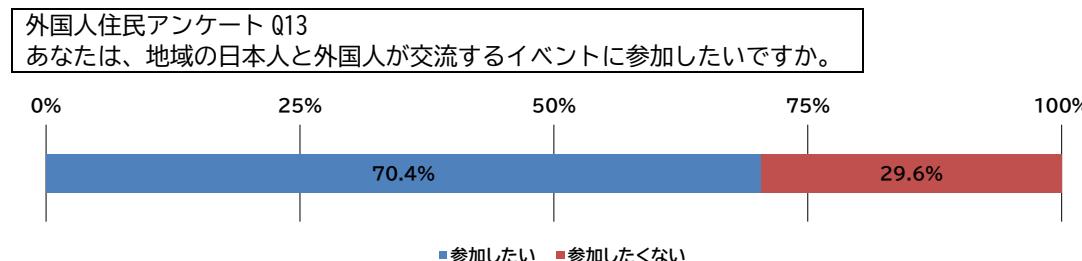
① 八戸での生活満足度

- 多くの外国人が八戸市を住みやすい環境と捉えており、地域社会における受入の素地は整っていると思われる。
- 高い満足度を維持しつつ、定住意欲や地域社会への主体的参画へつなげるかが課題である。



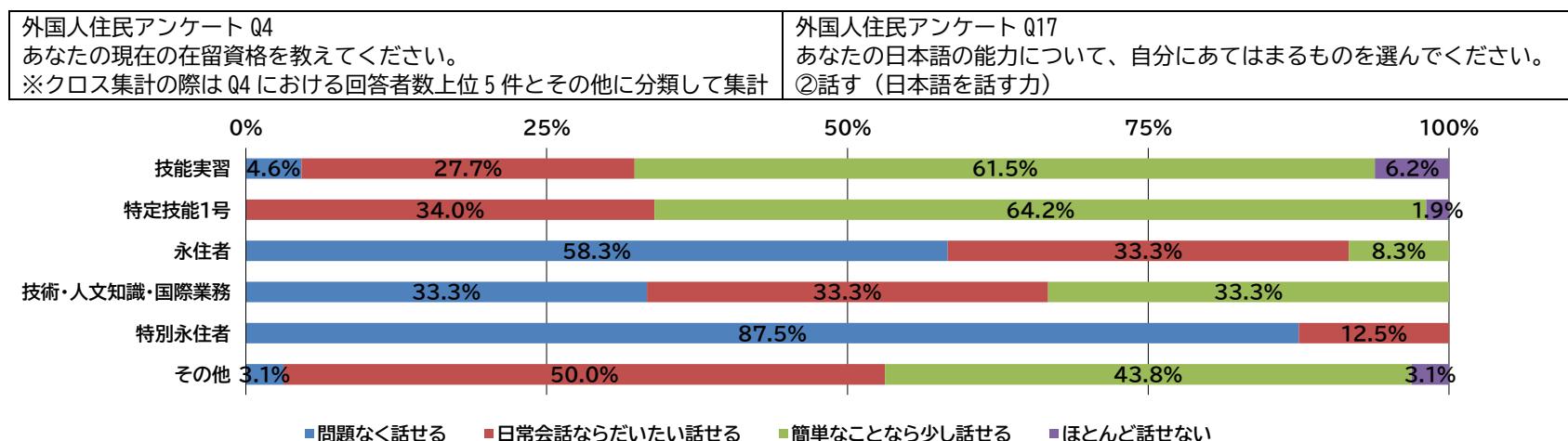
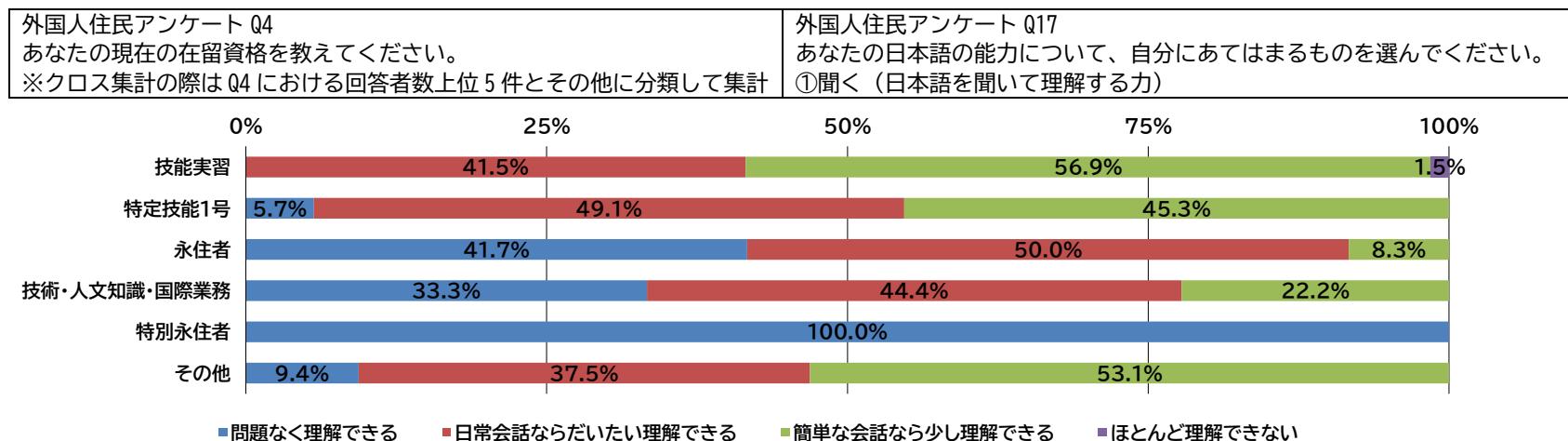
② 交流イベントへの参加意向

- 「参加したい」が70.4%と、外国人住民の地域交流に対する意欲は高い。

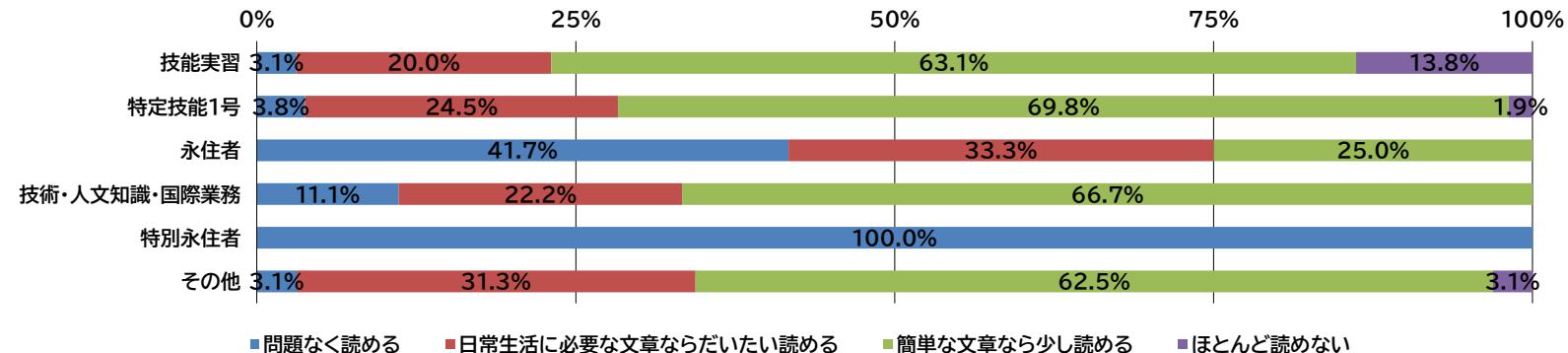


③ 在留資格別にみる日本語能力（クロス集計）

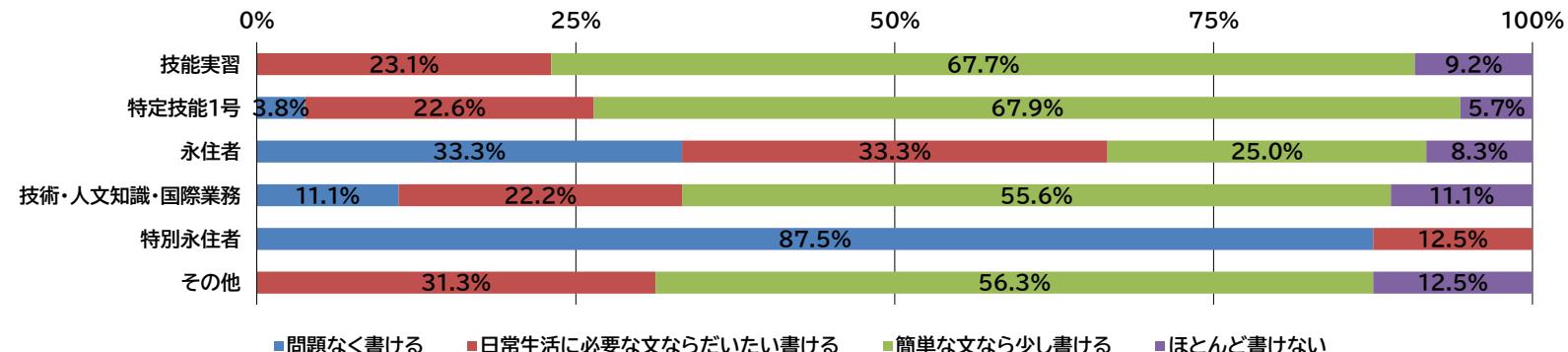
- 「聞く・話す」に比べ「読む・書く」ことへの苦手意識が強い。
- 「聞く・話す」能力も過半数が「簡単なこと」に限られており、地域住民との深い意思疎通には障壁がある。
- 日本語能力に課題のある「就労系在留資格」の外国人をターゲットとした日本語教育の取組の充実や「やさしい日本語」の普及が必要と思われる。



外国人住民アンケート Q4 あなたの現在の在留資格を教えてください。 ※クロス集計の際は Q4 における回答者数上位 5 件とその他に分類して集計	外国人住民アンケート Q17 あなたの日本語の能力について、自分にあてはまるものを選んでください。 ③読む（日本語の文章を読む力）
---	---

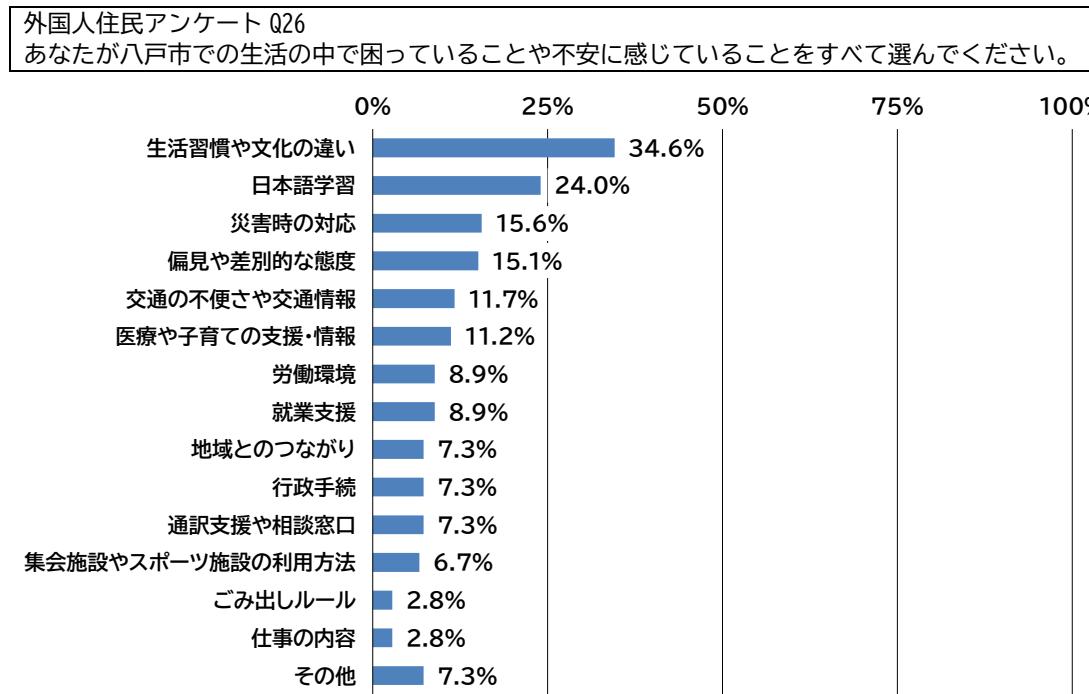


外国人住民アンケート Q4 あなたの現在の在留資格を教えてください。 ※クロス集計の際は Q4 における回答者数上位 5 件とその他に分類して集計	外国人住民アンケート Q17 あなたの日本語の能力について、自分にあてはまるものを選んでください。 ④書く（日本語を書く力）
---	--



④ 八戸市での生活における困りごとや不安

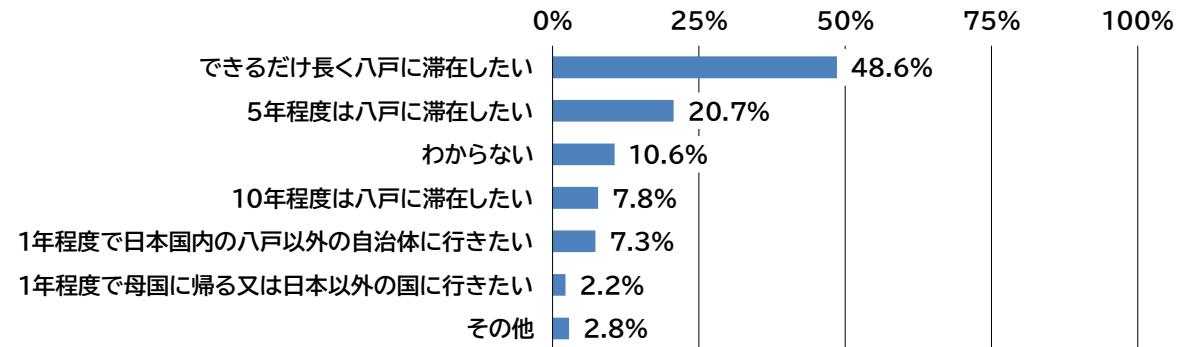
- ・「生活習慣や文化の違い」が 34.6%と最多で、「日本語学習」が 24.0%と続く。
- ・地域ルールの周知や相互理解の促進、日本語学習機会の不足が不安の主な要因となっている。
- ・「災害時の対応」や「偏見や差別的な態度」もそれぞれ 15%程度あり、非常時の情報伝達手段の確保と人権尊重の意識醸成が求められる。



⑤ 今後の定住意向

- ・「できるだけ長く」が48.6%、5年以上の希望を含めると77.1%で、外国人住民の定住意欲は高い。
- ・高い定住意向は「協働・共創」の取組を強力に後押しするものと考えられる。
- ・定着に繋げるため、生活の不安を解消し、長期的に安心して暮らせる環境整備が求められる。

外国人住民アンケート Q26
あなたは今後も八戸に滞在したいですか？（当てはまるものを一つ選んでください）。



第4章 外国人を受け入れている事業所・教育機関の現状

4.1 市内事業所アンケート結果

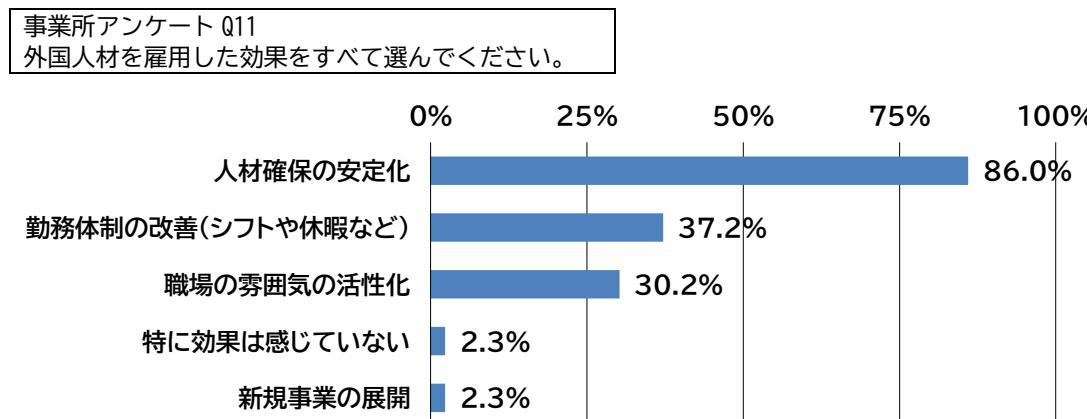
(1) 回答者の属性

- 事業所の形態は「法人（株式会社・合同会社など）」が大多数（97.7%）を占め、所在地の約9割が八戸市内である。
- 設立年数では「20年以上」が過半数（55.8%）を占め、長年地域で活動している事業所が多く回答している。
- 業種別では「福祉・介護」と「製造業」が同率で最も多く（各23.3%）、次いで「建設業」（20.9%）となっている。
- 従業員規模は「20～49人」が最も多く、中小規模の事業所が中心となっている。
- 雇用している外国人材の国籍としては、ベトナム、インドネシア、フィリピンの順で人数が多くなっている。

(2) 分析結果

① 外国人材の雇用による効果

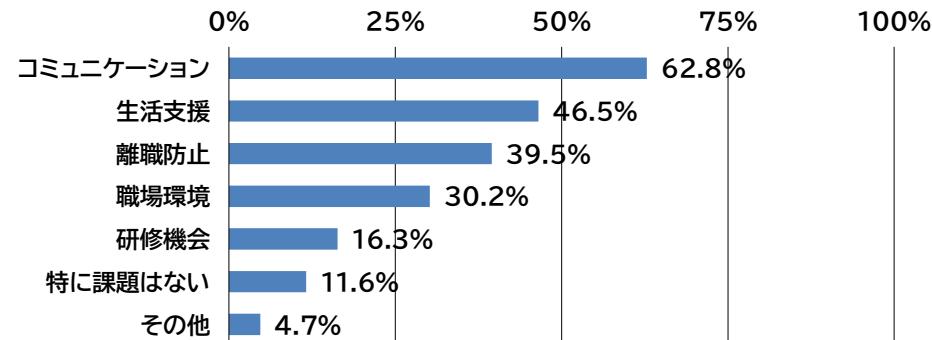
- 「人材確保の安定化」が86.0%と多数で、対象の事業所においては外国人材が不可欠な存在となっている。
- 勤務体制の改善や職場活性化等の効果も3割以上あり、単なる員数合わせを超えた組織への好影響が出ている。



② 外国人材雇用における課題

- ・「コミュニケーション」が6割を超え、日本語能力不足による意思疎通の難しさが業務遂行上の障壁となっている。
- ・「生活支援」が約半数で、企業の負担となっている状況である。

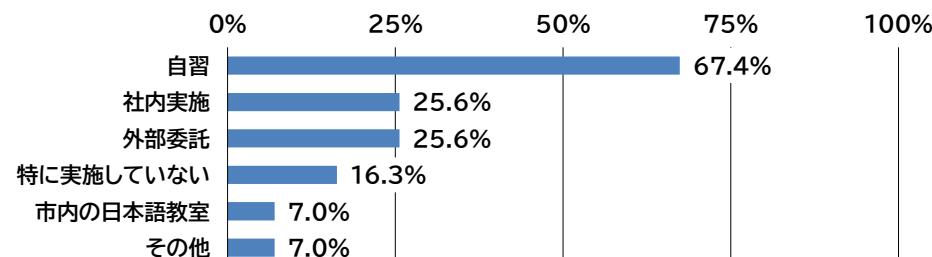
事業所アンケート Q13
現在、外国人材を雇用している上での課題をすべて選んでください。



③ 日本語教育の実施状況

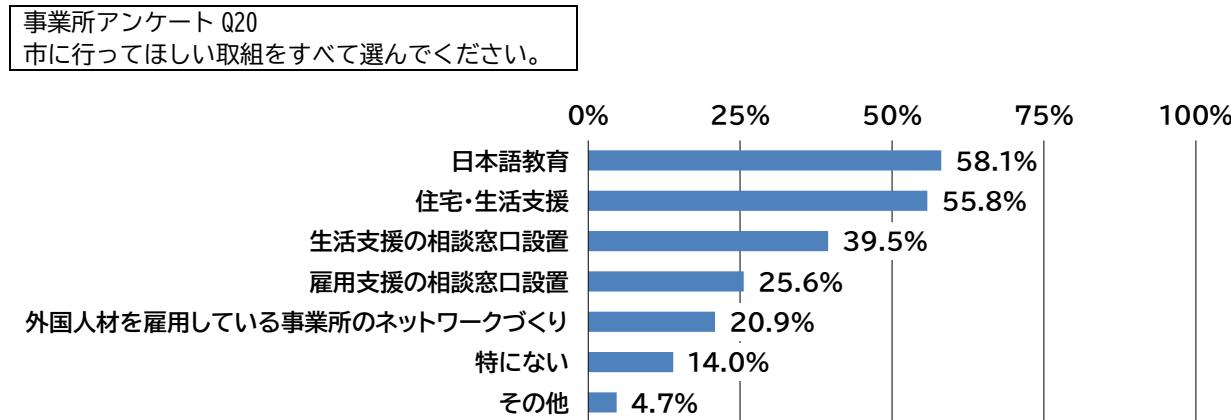
- ・日本語学習は「自習」が67.4%と多数で、社内実施や外部委託等はそれぞれ25%ほどに留まっている。
- ・市内の日本語教室の利用が1割未満と低調であることから、日本語教室の周知を強化するほか、企業に求められる日本語教育の在り方を研究する必要があると思われる。

事業所アンケート Q16
日本語教育の実施状況について、あてはまるものをすべて選んでください。



④ 【Q20】市への要望

- ・日本語教育と住宅・生活支援への要望が共に約6割に達し、事業所の自助努力だけでは対応しきれない現状がうかがえる。
- ・生活支援相談窓口の設置要望も約4割あり、公的なサポート体制が求められている。



4.2 事業所・教育機関ヒアリング結果

(1) 調査の概要

アンケート調査では把握しきれない、外国人を雇用している事業所及び外国人児童生徒が在籍している教育機関における受入れの実態、具体的な課題、先進的な取組事例を収集することを目的に実施した。

事業所6件（製造業3件、医療・福祉2件、漁業1件）及び市立小学校1校を対象とした。

(2) 事業所における外国人材活用の状況

① 雇用形態と就業の傾向

- ・調査対象の事業所では技能実習生から特定技能への移行が進んでおり、在籍年数も1年から7年と長期化する傾向にある。
- ・多くの事業所では、日本人従業員の確保が困難なため外国人材が必要不可欠な状況にある一方、一部の事業所では、業務の縮小により外国人雇用を抑制しようとする動きも見られた。
- ・高校を卒業した外国人を採用し、OJTにより技能実習から特定技能へとキャリアアップさせ、最近では特定技能2号の取得を促す事業所も見られた。

② 受け入れの工夫と好事例

- ・一部の事業所では、ミスマッチの防止や意欲の高い人材を確保する観点から、自社職員が現地（海外）へ赴き面接や家族訪問を行っている。これにより、高い定着率を実現している事業所がある。
- ・宗教・文化への配慮として、ラマダン（イスラム教における断食月）の時期の尊重や社員食堂での豚肉を使用しない昼食の提供、事業所内への「簡易的なお祈りスペース」の設置予定など、具体的な環境整備に取り組んでいる事業所もあった。
- ・「違いがあって当たり前という風土ができつつあり、職員は比較的寛容」との声も聞かれた。
- ・電動自転車の貸与や社用車による送迎、社宅の整備などの手厚い生活支援も見られた。
- ・運動会やお祭りなどの地域行事への参加事例が複数あった。

③ 直面している課題

- ・「日本語能力が高い特定の外国人に頼りきりになり、他の外国人の日本語能力が向上しない」といった、業務内における意思疎通の難しさが指摘された。
- ・住居での騒音苦情、ゴミ出しの問題、予期せぬ離職への対応に苦慮した経験のある事業所もあった。
- ・移動手段が限られる外国人スタッフの買い物や余暇への支援について、一部の担当者への負担が集中していることを懸念している事業所が複数あった。
- ・特に、日本語教育と住宅・生活支援について、事業所の自助努力だけでは対応に苦慮している。

④ 行政に求める支援

- ・入居率の低い市営住宅の活用や、大規模な宿舎建設への補助が求められている。
- ・市窓口における転入手続きの際、「とにかく長時間待たされ、外国人と引率する日本人スタッフは疲労困憊の状態」との指摘があり、簡略化や時間短縮が求められている。
- ・一方で、事前に市や銀行などの窓口に連絡し手続きの準備（オンライン申請含む）を進めており、当日は比較的短時間で手続きが終了しているため特に困っていないとする事業所もあり、デジタル化の推進や周知、事業所間の情報共有の場が必要と考えられる。
- ・平日夜や休日に受講できる JLPT（日本語能力試験）の学習支援や、外国人が気軽に利用できるスポーツ施設（体育館や公民館等）の貸出、レクリエーション情報の提供が求められている。
- ・外国人材のキャリアアップ支援として、技能検定試験の市内実施を求める声があった。
- ・外国人に対する偏見や誹謗中傷の防止に向け、市による継続的な意識啓発の実施が求められている。

(3) 教育現場における外国にルーツを持つ子どもの受入れ実態

① 現状

- ・ヒアリングを実施した小学校には外国籍児童が複数名在籍しており、在籍期間は1か月半から5年程度と幅広い。
- ・日本語のほか、Google 翻訳などを活用し意思疎通を図っている。
- ・市教育委員会「日本語教育支援事業」を活用しており、国語や社会の教科書、ドリル、生活単語カードなどを児童の習熟度に合わせて使用している。

② 受入の工夫と好事例

- ・宗教上のタブーについて家庭と確認し給食のメニューチェックを行っているほか、肌を見せられないという宗教上の理由に対し、プールや宿泊学習時の着替え場所を個別に確保したり、入浴時間をずらす等の配慮を実施している。
- ・周囲と自然に馴染んでおり、日本人児童が外国籍児童の母語に興味を持つといった肯定的な交流も生まれている。

③ 直面している課題

- ・日本語指導が必要な児童への支援時間について、「支援が必要な児童に対して継続的な支援ができるよう、支援時間の拡充を可能とするなど柔軟な運用を望む」との現場の声がある。
- ・子どもがある程度の日本語を理解できても家庭では母国語で話すため、保護者が日本語を話せない・読めないケースがあり、学校から保護者への連絡について、保護者の職場の方に伝えもらうなど苦慮している。

第5章 アンケート単純集計結果

アンケート集計結果の見方

回答形式関係	単一回答	設問に対し、選択肢の中から1つだけを選んで回答する形式。原則として、割合(%)の全体は100%になる。
	複数回答	設問に対し、選択肢の中からあてはまるのをすべて選んで回答する形式。1人の回答者が複数の選択肢を選ぶことが可能なため、割合(%)の全体は100%を超える場合がある。
	自由記述	具体的な内容や意見を自由に記入する形式。この資料では、寄せられた回答の中から主な意見や代表的なものを抜粋し、箇条書きで掲載している。
集計数値関係	有効回答者数(N)	その設問の回答者数を示している。
	回答数(n)	その選択肢の回答数を示している。
割合(%)		割合(%) = 回答数(n) ÷ 有効回答者数(N) × 100 有効回答者数に対する各選択肢の回答割合を示している。小数点第2位を四捨五入して表記しているため、单一回答であっても全体で100%にならない場合がある。
その他	選択肢の並び順	次の場合を除き、基本的に割合の大きい順に整列している。 ・選択肢が年齢の場合は数字が小さい順に整列 ・選択肢が肯定・否定の度合いの場合は肯定から否定の順に整列

5.1 日本人住民アンケート

Q1 あなたの性別を教えてください。【单一回答】

	N=307	n	%
女性		159	51.8
男性		146	47.6
答えたくない		2	0.7
全体		307	100.0

Q2 あなたの年齢を教えてください。【单一回答】

	N=307	n	%
10代		1	0.3
20代		19	6.2
30代		32	10.4
40代		50	16.3
50代		55	17.9
60代		59	19.2
70代以上		91	29.6
全体		307	100.0

Q3 あなたの最終学歴を教えてください。【单一回答】

	N=307	n	%
高等学校卒業		143	46.6
専門学校・短期大学卒業		69	22.5
大学卒業		66	21.5
中学校卒業		23	7.5
大学院修了		5	1.6
小学校卒業		1	0.3
全体		307	100.0

Q4 あなたの現在の職業を教えてください。【単一回答】

N=306	n	%
会社員	111	36.3
無職	69	22.5
パート・アルバイト	41	13.4
主婦(主夫)	36	11.8
自営業	22	7.2
公務員	14	4.6
その他	13	4.2
全体	306	100.0

Q5 あなたは、外国人との会話や交流に関する資格や経歴がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=307	n	%
特がない	232	75.6
英検などの外国語検定の合格や TOEIC などのスコア取得の経験がある	60	19.5
仕事やボランティアで外国人支援や国際交流活動に従事した経験がある	15	4.9
留学や海外在住の経験がある	10	3.3
海外で日本語学校に勤務経験	1	0.3
外国語教育(英語・その他)に関する資格や免許を持っている	1	0.3
その他	4	1.3
全体	323	-

Q6 あなたは日常的に外国人との交流がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(過去の経験も含みます)【複数回答】

N=307	n	%
外国人の知り合いはいないし、つきあいもない	180	58.6
店や街で見かける	131	42.7
一緒に仕事をしている・仕事でつきあいがある	28	9.1
外国人とあいさつ程度のつきあいがある	20	6.5
外国人の友人がいる	16	5.2
サークルや趣味のグループ、ボランティア活動等で一緒に活動している外国人がいる	10	3.3
自分または家族・親族の配偶者・パートナーが外国人である	8	2.6
子どもの友達やその親に外国人がおり、つきあいがある	6	2.0
自分が通う学校に外国人がおり、知り合いである	4	1.3
町内会や近所づきあい等、地域で一緒に活動している外国人がいる	2	0.7
全体	405	-

Q7 あなたがこれまで行ったことがあるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=308	n	%
海外ドラマや海外映画・海外アニメの視聴	125	40.6
海外旅行(海外出張を含む)	116	37.7
上記で行ったものはない	110	35.7
海外料理をメインに掲げるレストラン等での飲食	65	21.1
学校以外での外国語の学習経験(自学を含む)	47	15.3
異文化交流イベントへの参加(国際交流フェスタ等)	26	8.4
海外生活経験(留学・就業・ホームステイ等)	18	5.8
海外アーティストの推し活	16	5.2
ホームステイの受け入れ	8	2.6
全体	531	-

Q8 外国人との交流について、印象に残っていることをすべて選んでください。

【複数回答】

N=306	n	%
特に外国人と交流したことがない	138	45.1
言葉の壁を感じた	105	34.3
文化や習慣の違いが面白い	90	29.4
困ったことがあった(言葉・文化の違いで)	59	19.3
学びが多かった(仕事・生活など)	39	12.7
食文化の交流が楽しかった	35	11.4
特に印象に残ったことはない	21	6.9
新しい友達ができた	19	6.2
全体	506	-

Q9 外国人との交流について、どんな内容の交流イベントに参加したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=300	n	%
日本以外の国の文化体験	136	45.3
参加したくない	87	29.0
地域のお祭り	86	28.7
日本の文化体験	57	19.0
スポーツ	52	17.3
防災訓練	23	7.7
その他	7	2.3
全体	448	-

Q10 市内に外国人が増えることへの影響について、どう思いますか。それぞれの項目についてお答えください。【単一回答】

① 外国の言語や文化等を知る機会が増える

N=303	n	%
そう思う	155	51.2
どちらとも言えない	107	35.3
そう思わない	41	13.5
全体	303	100.0

② 文化・習慣の違いによるトラブルが増える

N=304	n	%
そう思う	171	56.3
どちらとも言えない	96	31.6
そう思わない	37	12.2
全体	304	100.0

③ 外国人と友人になったり、仕事上でのつきあいが増えたりするなど交流が生まれる

N=305	n	%
そう思う	145	47.5
どちらとも言えない	109	35.7
そう思わない	51	16.7
全体	305	100.0

④ 外国人向けサービス(多言語対応等)や教育など社会的負担が増える

N=306	n	%
そう思う	174	56.9
どちらとも言えない	88	28.8
そう思わない	44	14.4
全体	306	100.0

⑤ 人手不足や地域の担い手不足の解消につながる

N=307	n	%
そう思う	165	53.7
どちらとも言えない	89	29.0
そう思わない	53	17.3
全体	307	100.0

⑥ 就職にあたり、競争が激しくなる

N=305	n	%
そう思う	53	17.4
どちらとも言えない	111	36.4
そう思わない	141	46.2
全体	305	100.0

⑦ 地域の賑わい創出や活性化につながる

N=305	n	%
そう思う	116	38.0
どちらとも言えない	122	40.0
そう思わない	67	22.0
全体	305	100.0

⑧ 外国人住民が増えることについて漠然とした不安を感じる

N=303	n	%
そう思う	161	53.1
どちらとも言えない	83	27.4
そう思わない	59	19.5
全体	303	100.0

Q11 外国人住民とどのような関係を築きたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=306	n	%
あいさつを交わす程度	107	35.0
地域行事や活動を一緒にする	103	33.7
困ったときに助け合える	100	32.7
深い関係は望まない	92	30.1
友人として付き合う	62	20.3
わからない	51	16.7
その他	4	1.3
全体	519	-

Q12 外国人との共生に関して不安や懸念がある分野をすべて選んでください。

【複数回答】

N=305	n	%
言葉の壁(コミュニケーションの難しさ)	242	79.3
文化の違い(食文化、生活習慣など)	211	69.2
治安・風紀	203	66.6
近隣住民との関係	128	42.0
災害時の対応	98	32.1
医療・福祉	84	27.5
仕事や就業面での課題	69	22.6
教育・学校生活	59	19.3
特に不安はない	15	4.9
その他	7	2.3
全体	1,116	-

Q13 あなたは、八戸市に住む外国人について、次のようなことが起きているのを見聞きしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=306	n	%
特にない	232	75.8
文化や習慣の違いを理解されていない	47	15.4
同じ仕事でも賃金が低い	39	12.7
外見や宗教などを理由に中傷されている	11	3.6
仲間はずれや無視をされている	10	3.3
住まいを断られている	8	2.6
その他	6	2.0
全体	353	-

Q14 外国人住民との共生で、必要と思う取組をすべて選んでください。【複数回答】

N=305	n	%
外国人向けの日本語教室	170	55.7
多言語での情報提供	146	47.9
外国人の転入時の生活説明会	137	44.9
地域の防災・防犯対策の強化	125	41.0
日本人向けの外国語講座	111	36.4
日本人と外国人の交流イベント	109	35.7
医療・福祉サービスの多言語対応	108	35.4
子育て支援・教育サポートの充実	86	28.2
外国人と日本人双方の異文化コミュニケーショントレーニング	86	28.2
特にない	38	12.5
その他	7	2.3
全体	1,123	-

Q15 八戸市は、外国人にとって住みやすいまちだと思いますか。【単一回答】

N=303	n	%
住みやすい	19	6.3
どちらかといえば住みやすい	77	25.4
どちらともいえない	164	54.1
どちらかといえば住みにくい	30	9.9
住みにくい	13	4.3
全体	303	100.0

Q16 「Q15」の回答理由を教えてください。(任意)【自由記述】

「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」回答層

市民の親切心や人柄の良さといったソフト面と、雪の少なさや食の豊かさといった生活環境のハード面の両方を評価する傾向がある。

また、米軍基地のある三沢市に近いことから、外国人の存在が日常に溶け込んでおり、心理的なハードルが低いことも要因として挙げられる。

一方で、肯定的な層の中からも、地域特有の「ハッキリ言わない」気質がトラブルを招くのではないかと懸念する声が出ている。

【主な意見（抜粋）】

- ・親切な方が多いから馴染みやすいかと(30代・女性)
- ・南部気質で思った事をハッキリ言わないから外国人が好き勝手しそうで今後の八戸に不安を感じます。(50代・男性)
- ・東北では雪が少ない。スーパーがわりとある。人が多過ぎず、少な過ぎずだから。(50代・女性)
- ・治安が良いから。(60代・男性)
- ・三沢基地が近く、もともと外国人が多いから。(30代・女性)

「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」回答層

多言語表示の欠如や外国語対応可能な人材の不足が、外国人にとっての「孤立」や「不便」に直結しているとの指摘が極めて多い。

また、地域社会の「閉鎖性・排他性」を指摘する声があり、外国人やそのパートナーに対する周囲の視線、住宅確保の難しさ、差別的な言動などが「住みにくい」の実態として具体的に挙げられている。

【主な意見（抜粋）】

- ・外国語を話せる人が少ないから(30代・女性)
- ・閉鎖的、排他的な文化が根強く残っているから。(40代・男性)
- ・公共、商業施設において日本語以外の案内表示がかなり少ない。飲食店の看板、メニュー、表示案内等において英語版もあれば良いと思う。地域柄によると思うが、外国人、外国人パートナーを持つ日本人に対して物珍しいような視線を浴びせられる事が多く、居心地がとても悪い。(30代・女性)
- ・都会よりも多言語への対応が遅れているし、公共交通機関はローカルルールが多くて日本人であっても難しい。(20代・女性)

「どちらともいえない」回答層

日常生活の中で外国人と接触する機会がなく、実情を把握・判断する材料が不足しているという意見が回答の大部分を占め、行政による外国人向けの支援策や具体的な取り組みが見えないこと、また外国人本人の意向が不明であることも、判断を保留する要因となっている。

【主な意見（抜粋）】

- ・あまり周りに外国の方がいないのでよくわからないです(40代・女性)
- ・八戸市がどれくらい外国人に対する支援をしているのか分からない。(50代・男性)
- ・八戸市民ですら住みにくい街であるため、外国人が住みやすいとは思わない。そもそも、外国人本人しかわからない。(30代・男性)

Q17 外国人住民の声をまちづくりに反映する仕組みは必要だと思いますか。

【単一回答】

N=304	n	%
必要と感じる	57	18.8
ある程度必要と感じる	144	47.4
どちらともいえない	59	19.4
あまり必要とは感じない	28	9.2
必要とは感じない	16	5.3
全体	304	100.0

Q18 八戸市では、「共感」「共生」「協働」「共創」の4つの考えに基づいて外国人との共生社会の実現に向けたプランの策定を検討しています。この考え方についてどう思いますか。【単一回答】

日本人住民と外国人住民が、

【共感】お互いの文化や相手の立場を理解し合う

【共生】対等な関係を構築し、地域で共に暮らす

【協働】一人ひとりがまちをつくる主役となって活躍する

【共創】みんなで協力して新しい価値を生み出し共有する

N=305	n	%
賛同する	107	35.1
やや賛同する	88	28.9
どちらともいえない	76	24.9
やや反対である	14	4.6
反対である	20	6.6
全体	305	100.0

Q19 「Q18」の回答理由を教えてください。(任意)【自由記述】

「賛同する、やや賛同する」回答層

人口減少や少子高齢化が進む中で、外国人を重要な労働力や地域の担い手として捉え、共生は「時代の流れ」として不可欠であるとする意見が目立つ。相互理解や人権尊重の重要性を説く声が多く、八戸市の活性化や新しい文化の導入に期待を寄せる傾向がある。

一方で、賛同しつつも日本のルールやマナーの遵守を前提条件として挙げる回答も散見される。

【主な意見（抜粋）】

- ・これから時代のあるべき姿であると思うから。(40代・男性)
- ・人口減少社会では、外国人も国や地域の重要な担い手になりうるし、外国人が持ち込む新しい文化で、八戸市の文化がさらに磨かれる可能性があると思うから(50代・男性)
- ・同じ地域に住んでいるのだから日本人も外国人も関係ないし、困っていたらお互いに助け合って暮らし、八戸市を住みよいまちにしていきたいです。(50代・女性)
- ・外国人だからという理由で共生を拒否する権利はないと思う。地元民の安全や地域の秩序、お互いがマナーとルールを守った上で共生できるような仕組みを作ることが大事だと思う。(30代・女性)

「反対である、やや反対である」回答層

治安の悪化や風紀の乱れ、犯罪の増加を強く懸念する回答が中心となっている。特にゴミ出しや騒音等のルール違反への不満が根強い。

【主な意見（抜粋）】

- ・外国人労働力を、人手不足に充てがうための、上辺だけの綺麗事プランには賛同できかねる。(20代・男性)
- ・治安、風紀の乱れが懸念される。トラブル・犯罪が起きないか心配。(60代・男性)
- ・日本に住むのなら、日本のルールまたは法律を徹底して守らせるべき。(50代・男性)
- ・移民問題に苦しむ国がある中、外国人住民のために暮らしやすくなるような事を市としてやるべきではない。将来とり返しがつかない事になる。(40代・男性)
- ・八戸が八戸でなくなってしまったら遅いから。(40代・男性)

「どちらともいえない」回答層

日常生活において外国人との接点が乏しく、判断材料が不足しているとする意見が多い。プランの理念自体には理解を示しつつも、実効性や具体的な施策が見えないことへの不安が伺える。

【主な意見（抜粋）】

- ・何をもって住民とするかがわからない。日本国民と同様に税金等を納めるなどの、義務を果たしているのならば、日本人、外国人とわけて考える必要はない。ただ、義務を果たしていないのならばそれなりの区別は必要と考えます。(50代・男性)
- ・目標はいいがそもそも八戸市や日本人をどう思っているのかが見えない。市民も彼ら彼女らがここにいる理由や仕事内容を知らないのでは？理解し合うには情報も交流の機会も限定的で広く成立していない。(50代・女性)
- ・外国人が増えれば摩擦が増えると思いますが、世界の情勢からみても共生は必要だと思います。(70代以上・男性)

Q20 八戸市の多文化共生のまちづくりに向け、外国人住民に期待するものについて、あてはまるものを全て選んでください。【複数回答】

N=293	n	%
日本の習慣や文化を理解し、ルールを守って日本人と良好な関係をつくってほしい	215	73.4
日頃から地域に住む日本人住民とあいさつを交わすなどコミュニケーションを図ってほしい	109	37.2
地域を支える労働力として関わってほしい	100	34.1
外国人の視点や発想を活かして、生活の中で感じたことを提案・発信してほしい	97	33.1
八戸三社大祭や八戸えんぶり等、地域の祭りや行事等に参加してほしい	81	27.6
外国の文化や言葉を教えてほしい	77	26.3
町内会活動や地域イベントのスタッフ等、地域活動の担い手として関わってほしい	48	16.4
特に期待することはない	33	11.3
何をしてほしいかわからない	26	8.9
その他	3	1.0
全体	789	-

Q21 八戸市では、日本人と外国人が協力し合う社会が実現していると思いますか。

【単一回答】

N=286	n	%
そう思う	25	8.7
どちらともいえない	176	61.5
そう思わない	85	29.7
全体	286	100.0

Q22 多文化共生に関する意見や感想があれば記入してください。(任意)【自由記述】

回答全体を通じて、外国人住民に対して「日本のルールやマナー、文化の遵守」を強く求める声が最も多い。特に、他自治体でのトラブルや治安悪化の報道を背景とした不安感は根強く、安易な受け入れを牽制する批判的な意見も一定数存在する。

一方で、盆踊りなどの地域行事を通じた自然な交流を肯定的に捉える意見や、子供たちの教育や異文化理解の機会として期待する声も見られる。性別を問わず、単なる労働力確保のための施策ではなく、相互理解を促進するための行政による主体的な働きかけを求める傾向がある。

【主な意見（抜粋）】

- ・観光客ならまだしも、住民が増えるということは、既存の住民へ負担をかけることなのだから、安易な受け入れはすべきでない。労働力確保したいなら外国人に頼るような小手先の政策をすべきでない。日本語力が高く、日本の制度、文化に従える外国人のみ受け入れるべきだ。「共感」「共生」「協働」「共創」は、その上で成り立つものであり、安易に受け入れては、八戸市が川口市になるだけだ。(20代・男性)
- ・ルールやマナーを守ってもらう事、地域民の生活基盤が覆される事がないように、厳しい基準を整え、真剣に日本で仕事をしながら生きていきたいという外国人に対してサポートや共生ができるような環境であって欲しいと思う。(30代・女性)
- ・8月に市庁前広場でやっていた県南盆踊り大会に日本人も外国人も混ざってみんな楽しく踊っている姿を見て、これこそ多文化共生だと思った。大都市圏では差別の問題が生じているが、八戸はいいところだと思う外国人にはぜひ来てほしいと思う。(40代・男性)
- ・Q20、①～⑤は外国人に「期待する」のではなく、こちら側（八戸市民）から外国の方々に「働きかけていく」のが大事だと思います。一気に実現するとは思いませんが。とにかく今 SNS 等で言われている対立構造や批判ばかりしている市（まち）にはしたくないですネ。(60代・女性)

- ・外国人にも地元民にも快適に暮らしてもらうには、外国人がここの習慣風土に「順応」することが肝要であって、こちらから合わせるのではない。これは日本人が他国へ行っても同じである。たとえば、ごく少数のために、給食にハラールをいれるとか、祈りの時間を作るとか、まして土葬を認めるとかは、「共」や「協」ではなく、費用と労力と混乱をもたらすだけだ。要は、郷に入つては郷に従えであって、「郷」のほうを変えて郷に負担をもたらすのはおかしい。(60代・男性)
- ・自分自身は中々積極的に交流しようという意欲は少ないですが、子どもたちには沢山外国の方との交流し、文化や考え方など色々なことを学んで欲しいと思います。(20代・女性)
- ・八戸市における多文化共生の街づくりは簡単ではないと思いますが、近い将来、良い結果が出ますように少しづつ進めていけたら良いと思います。(50代・女性)

5.2 外国人住民アンケート

■回答言語

N=179	n	%
インドネシア語	46	25.7
ベトナム語	32	17.9
やさしい日本語	30	16.8
英語	30	16.8
タガログ語	21	11.7
ミャンマー語	20	11.2
全体	179	100.0

Q1 あなたの性別を教えてください。【単一回答】

N=179	n	%
男性	110	61.5
女性	68	38.0
答えたくない	1	0.6
全体	179	100.0

Q2 あなたの年齢を教えてください。【単一回答】

N=179	n	%
10代	3	1.7
20代	84	46.9
30代	50	27.9
40代	26	14.5
50代	9	5.0
60代	2	1.1
70代以上	5	2.8
全体	179	100.0

Q3 あなたの国籍を教えてください。【単一回答】

N=179	n	%
インドネシア	47	26.3
フィリピン	38	21.2
ベトナム	32	17.9
ミャンマー	21	11.7
韓国	9	5.0
中国	7	3.9
アメリカ	5	2.8
タイ	5	2.8
モンゴル	4	2.2
ネパール	2	1.1
カンボジア	2	1.1
その他	7	3.9
全体	179	100.0

Q4 あなたの現在の在留資格を教えてください。【単一回答】

N=179	n	%
技能実習	65	36.3
特定技能1号	53	29.6
永住者	12	6.7
技術・人文知識・国際業務	9	5.0
特別永住者	8	4.5
日本人の配偶者等	7	3.9
留学	6	3.4
特定活動	4	2.2
特定技能2号	3	1.7
定住者	3	1.7
教育	2	1.1
家族滞在	2	1.1
技能	2	1.1
その他	3	1.7
全体	179	100.0

Q5 あなたの出身国で最後に卒業した学校を教えてください。【単一回答】

N=179	n	%
高等学校卒業	96	53.6
大学卒業	31	17.3
専門学校・短期大学卒業	22	12.3
大学中退	16	8.9
中学校卒業	10	5.6
大学院修了	2	1.1
その他	2	1.1
全体	179	100.0

Q6 あなたは日本に来る前に、日本語をどのくらいの期間学びましたか。

【単一回答】

N=179	n	%
学んでいない	21	11.7
3か月未満	17	9.5
3か月以上1年未満	87	48.6
1年以上3年未満	37	20.7
3年以上	17	9.5
全体	179	100.0

Q7 あなたが八戸市(日本)に来た理由はなんですか？もっとも当てはまるものをひとつ選んでください。【单一回答】

N=179	n	%
お金を稼ぐ・仕送り(送金)のため	69	38.5
スキルの獲得・将来のキャリア向上のため	59	33.0
八戸市(日本)が好きだから	13	7.3
家族の仕事のため	12	6.7
結婚のため	11	6.1
勉強のため	5	2.8
仕事のため	1	0.6
その他	9	5.0
全体	179	100.0

Q8 あなたの現在の主な仕事・活動内容を教えてください。【单一回答】

N=179	n	%
会社員、作業員(フルタイム)	142	79.3
無職	9	5.0
パート・アルバイト	7	3.9
学生	7	3.9
家事・育児	6	3.4
その他	8	4.5
全体	179	100.0

Q9 八戸市での居住年数を教えてください。【单一回答】

N=179	n	%
1年未満	43	24.0
1年以上3年未満	81	45.3
3年以上5年未満	19	10.6
5年以上	36	20.1
全体	179	100.0

Q10 あなたの現在の住居の種類を教えてください。【单一回答】

N=179	n	%
社宅・寮(会社や学校が用意)	86	48.0
アパート・マンション(賃貸)	56	31.3
戸建て住宅(賃貸)	24	13.4
戸建て住宅(持ち家)	11	6.1
宿泊施設(ホテル・旅館など)	1	0.6
その他	1	0.6
全体	179	100.0

Q11 あなたは日常的に日本人との交流がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(過去の経験も含みます)【複数回答】

N=179	n	%
一緒に仕事をしている・仕事でつきあいがある	153	85.5
日本人の友人がいる	58	32.4
日本人とあいさつ程度のつきあいがある	27	15.1
町内会(地域の人々が支え合う組織)や近所づきあい等、地域で日本人と一緒に活動している	24	13.4
自分または家族・親族の配偶者・パートナーが日本人である	22	12.3
サークルや趣味のグループ、ボランティア活動等で日本人と一緒に活動している	18	10.1
子どもの友達やその親に日本人がおり、つきあいがある	12	6.7
自分が通う学校の日本人と知り合いである	8	4.5
全体	322	-

Q12 地域の日本人住民とどんな関係を望みますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=179	n	%
困ったときに助け合える	86	48.0
あいさつを交わす程度	75	41.9
地域行事や活動を一緒にする	72	40.2
友人として付き合う	63	35.2
自分の趣味を楽しみながら出会った人と仲良くなる	60	33.5
深い関係は望まない	4	2.2
わからない	1	0.6
その他	1	0.6
全体	362	-

Q13 あなたは、地域の日本人と外国人が交流するイベントに参加したいですか。【單一回答】

N=179	n	%
参加したい(⇒Q14～Q16へ)	126	70.4
参加したくない(⇒Q17へ)	53	29.6
全体	179	100.0

Q14 どんな内容の交流イベントに参加したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=126	n	%
日本の文化体験	88	69.8
地域のお祭り	79	62.7
スポーツ	51	40.5
防災訓練	41	32.5
日本以外の国の文化体験	32	25.4
わからない	2	1.6
全体	293	-

Q15 どこで交流イベントがあれば参加したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=126	n	%
自宅の近く	95	75.4
公民館などの公共施設	54	42.9
職場の近く	41	32.5
市役所	35	27.8
オンライン	12	9.5
わからない	4	3.2
その他	1	0.8
全体	242	-

Q16 どのくらいの頻度で交流イベントに参加したいですか。【単一回答】

N=126	n	%
月1回程度	42	33.3
3か月に1回程度	32	25.4
6か月に1回程度	19	15.1
年1回程度	20	15.9
わからない	13	10.3
全体	126	-

Q17 あなたの日本語の能力について、自分にあてはまるものを選んでください。【単一回答】

① 聞く(日本語を聞いて理解する力)

N=179	n	%
問題なく理解できる	22	12.3
日常会話ならだいたい理解できる	75	41.9
簡単な会話なら少し理解できる	81	45.3
ほとんど理解できない	1	0.6
全体	179	100.0

② 話す(日本語を話す力)

N=179	n	%
問題なく話せる	21	11.7
日常会話ならだいたい話せる	60	33.5
簡単なことなら少し話せる	92	51.4
ほとんど話せない	6	3.4
全体	179	100.0

③ 読む(日本語の文章を読む力)

N=179	n	%
問題なく読める	19	10.6
日常生活に必要な文章ならだいたい読める	42	23.5
簡単な文章なら少し読める	107	59.8
ほとんど読めない	11	6.1
全体	179	100.0

④ 書く(日本語を書く力)

N=179	n	%
問題なく書ける	14	7.8
日常生活に必要な文ならだいたい書ける	44	24.6
簡単な文なら少し書ける	106	59.2
ほとんど書けない	15	8.4
全体	179	100.0

Q18 あなたは、どのように日本語を勉強したいですか。【単一回答】

N=179	n	%
自分で勉強したい(Q23 へ)	97	54.2
地域の日本語教室で勉強したい(Q19~22 へ)	47	26.3
日本語学校で勉強したい(Q23 へ)	25	14.0
勉強したくない(Q23 へ)	10	5.6
全体	179	100.0

Q19 どんな内容の日本語教室に参加したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=47	n	%
仕事で役立つ日本語	35	74.5
日常生活で使える日本語(会話)	34	72.3
日本語能力試験(JLPT)などの試験対策	27	57.4
読み書きの基礎	20	42.6
全体	116	-

Q20 どこで日本語教室があれば参加したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=47	n	%
自宅の近く	35	74.5
オンライン	22	46.8
職場の近く	15	31.9
公民館などの公共施設	14	29.8
市役所	11	23.4
その他	1	2.1
全体	98	-

Q21 どのくらいの頻度で日本語教室に参加したいですか。【単一回答】

N=47	n	%
週 1 回程度	27	57.4
月 2 回程度	6	12.8
月 1 回程度	5	10.6
その都度	9	19.1
全体	47	100.0

Q22 どのような環境なら日本語を学びたいと思いますか。【単一回答】

N=47	n	%
時間的余裕がある	35	74.5
無償で学習できる	34	72.3
PCなどの通信手段がある	13	27.7
通う手段がある	12	25.5
金銭的余裕がある	10	21.3
知り合いがいる	6	12.8
わからない	1	2.1
全体	111	100.0

Q23 あなたは八戸での生活に満足していますか。【単一回答】

N=179	n	%
満足している	116	64.8
どちらかといえば満足している	50	27.9
どちらかといえば満足していない	6	3.4
満足していない	5	2.8
わからない	2	1.1
全体	179	100.0

Q24 Q23 の回答理由を教えてください。(任意)【自由記述】

「満足している」「どちらかといえば満足している」回答層

この回答層では、八戸市の「人柄の良さ・親切さ」を挙げる意見が最も目立つ。地元住民の優しさや、困った時の助け合いが安心感に繋がっている。環境面では、海や山などの豊かな自然と、買い物などの利便性が両立している点が評価されている。また、「静かで平和である」といった、治安や生活環境の穏やかさを肯定する声が共通して見られる。

【主な意見（抜粋）】

- ・八戸市は海に近いし、山に近い。海の幸もあれば山の幸もある。住みやすい所です。人々も親切です。(40代・男性)
- ・八戸とっても人柄が良くて、特に私は日本の法律や制度日本の全てが自分にあります。八戸の人間ほとんどみんな良い方で外国人の私でも優しい笑顔して、色々助けられます。(40代・女性)
- ・自然が豊かで家賃が安く何でもある為(50代・男性)
- ・八戸は、快適な都市生活と豊かな自然が組み合わさった街です。日本有数の水産工業の中心地として知られ、太平洋沿岸という戦略的な立地も理想的な場所です。(30代・男性)
- ・ここは私の故郷のように感じます。田舎で生まれ、周りが田んぼに囲まれているので、ベトナムの自宅にいるような気分になります。気候も暑すぎず寒すぎず、車の騒音もありません。(20代・女性)

「満足していない」「どちらかといえば満足していない」回答層

公共交通機関（特にバス）の不便さや生活の厳しさを訴える声があったほか、少數ではあるが職場での不当な扱いが報告されている。

【主な意見（抜粋）】

- ・公共交通機関がもっと良くなつてほしいです。周辺のバスが少なく、どこも遠すぎるでの、週末にアパートを出るのが大変です。（20代・女性）
- ・生活費が高く、非常時のための貯金が難しいからです。（40代・女性）
- ・仕事中、時々日本人の日本語が理解しにくいために、その時に怒鳴られたり物を叩きつけられたりします。（40代・男性）

「わからない」回答層

回答が2件のみと少數であることから分析の対象外とする。

Q25 あなたがこれまで見学または参加したことがあるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=179	n	%
館鼻岸壁朝市	83	46.4
八戸三社大祭	77	43.0
八戸七夕まつり	56	31.3
八戸えんぶり	44	24.6
上記で見学・参加したものはない	40	22.3
スポーツの試合	29	16.2
展覧会	26	14.5
日本人との交流イベント	26	14.5
音楽コンサート	23	12.8
全体	404	-

Q26 あなたが八戸市での生活の中で困っていることや不安に感じていることをすべて選んでください。【複数回答】

N=179	n	%
生活習慣や文化の違い	62	34.6
日本語学習	43	24.0
災害時の対応	28	15.6
偏見や差別的な態度	27	15.1
交通の不便さや交通情報	21	11.7
医療や子育ての支援・情報	20	11.2
労働環境	16	8.9
就業支援	16	8.9
地域とのつながり	13	7.3
行政手続	13	7.3
通訳支援や相談窓口	13	7.3
集会施設やスポーツ施設の利用方法	12	6.7
ごみ出しルール	5	2.8
仕事の内容	5	2.8
その他	13	7.3
全体	307	-

Q27 あなたは八戸市での暮らしで、次のようなことを経験したことがありますか。

あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=179	n	%
特にない	121	67.6
文化や習慣の違いを理解されない	26	14.5
同じ仕事でも賃金が低い	24	13.4
外見や宗教などを理由に中傷される	10	5.6
仲間はずれや無視をされる	7	3.9
正当な理由なく住居の賃貸契約を断られる	7	3.9
その他	3	1.7
全体	198	-

Q28 どこから生活情報を得られると便利ですか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=179	n	%
ソーシャルメディア	88	49.2
友人・知人からの口コミ	61	34.1
勤務先	60	33.5
市の広報紙(紙媒体)	46	25.7
市の公式ホームページ	32	17.9
外国人向け相談窓口	30	16.8
その他	1	0.6
全体	318	-

Q29 あなたは今後も八戸に滞在したいですか？【単一回答】

N=179	n	%
できるだけ長く八戸に滞在したい	87	48.6
5年程度は八戸に滞在したい	37	20.7
わからない	19	10.6
10年程度は八戸に滞在したい	14	7.8
1年程度で日本国内の八戸以外の自治体に行きたい	13	7.3
1年程度で母国に帰る又は日本以外の国に行きたい	4	2.2
その他	5	2.8
全体	179	100.0

Q30 八戸市で生活していて、困ったときに相談できる相手はいますか。【複数回答】

N=179	n	%
友人(自分と出身国が同じ)	94	52.5
家族	70	39.1
職場の人(日本人)	49	27.4
職場の人(自分と出身国が同じ)	49	27.4
友人(日本人)	36	20.1
友人(自分と出身国が異なる)	16	8.9
学校や日本語教室の先生	15	8.4
職場の人(自分と出身国が異なる)	14	7.8
市役所などの行政機関	12	6.7
相談相手がない	5	2.8
その他	2	1.1
全体	362	-

Q31 八戸市では、日本人と外国人が協力し合う社会が実現していると思いますか。

【単一回答】

N=179	n	%
思う	128	71.5
わからない	35	19.6
思わない	16	8.9
全体	179	100.0

Q32 多文化共生に関する意見や感想があれば記入してください。【自由記述】

多文化共生に関して、回答者からは多岐にわたる具体的な意見が寄せられた。全体として、日本人と外国人の「相互理解」や「交流機会の継続・拡大」を望む声が非常に強い。具体的には、交流イベントの継続に加え、情報が届きにくい層（職場や教会など）への配慮や、気軽に集まれる交流の場を求める意見が目立つ。

また、コミュニケーションのあり方についても深い洞察が見られ、外国人を「メディアのイメージ」ではなく一人の人間として見てほしいという訴えや、地域のルール違反に対して「怒る」のではなく「優しく教え合う」関係性を構築したいという建設的な提案がなされている。

【主な意見（抜粋）】

- ・まず、日本人と外国人との交流会のイベントを続けて頂きたい。外国人が集まる所にも情報を届けて頂きたい、職場とか宗教の関係で教会というところに八戸市のイベントがあれば、情報も頂けたら嬉しいかと思います。よろしくお願ひいたします。(40代・男性)
- ・私たち外国人に話しかけるのをためらわないでください。結局のところ、私たちはここ（八戸）の出身ではないので、もし私たちが気づかずルールを破っていたら、優しく教えてください。立場が逆であれば、私たちは優しく歩み寄り、訂正するからです。テレビで言われているよりも、外国人はもっと親しみやすい存在です。(20代・男性)
- ・難しいことではありますが、素晴らしいことだと思います。八戸、そして日本全体で、私たちは壁を壊し、橋を架けることができます。世界は一つの村です！(30代・男性)

5.3 事業所アンケート

Q1 事業所の形態を教えてください。【单一回答】

N=43	n	%
法人(株式会社・合同会社など)	42	97.7
個人事業主	1	2.3
全体	43	100.0

Q2 事業所の所在地を教えてください。【单一回答】

N=43	n	%
八戸市内	38	88.4
その他	5	11.6
全体	43	100.0

Q3 事業所の設立年数を教えてください。【单一回答】

N=43	n	%
5年未満	7	16.3
5年以上10年未満	3	7.0
10年以上20年未満	8	18.6
20年以上	24	55.8
不明	1	2.3
全体	43	100.0

Q4 代表者の年齢層を教えてください。【单一回答】

N=43	n	%
29歳以下	1	2.3
30～39歳	1	2.3
40～49歳	8	18.6
50～59歳	18	41.9
60歳以上	15	34.9
全体	43	100.0

Q5 事業所の業種を教えてください。【单一回答】

N=43	n	%
福祉・介護	10	23.3
製造業	10	23.3
建設業	9	20.9
小売業	4	9.3
サービス業	1	2.3
その他	9	20.9
全体	43	100.0

Q6 従業員数(フルタイム・パート含む)を教えてください。【単一選択】

N=43	n	%
1~4人	1	2.3
5~19人	11	25.6
20~49人	12	27.9
50~99人	9	20.9
100人以上	10	23.3
全体	43	100.0

Q8 外国人材の採用方法をすべて選んでください。【複数回答】

N=43	n	%
監理団体・登録支援機関(市外)	30	69.8
監理団体・登録支援機関(市内)	10	23.3
人材紹介会社(監理団体・登録支援機関以外)	4	9.3
ハローワーク	3	7.0
Web求人(求人情報サイト、自社HP、SNS含む)	2	4.7
その他	2	4.7
全体	51	-

Q7 雇用している外国人材の国籍と人数を教えてください。【自由記述】

N=43	総人数
ベトナム	180
インドネシア	149
フィリピン	101
ミャンマー	90
中国	24
モンゴル	23
ネパール	11
タイ	3
韓国	2
全体	583

Q9 外国人材の雇用形態をすべて選んでください。【複数回答】

N=43	n	%
特定技能	26	60.5
技能実習	22	51.2
正社員	14	32.6
パート・アルバイト	5	11.6
契約社員	2	4.7
その他	1	2.3
全体	70	-

Q10 外国人材を雇用した理由をすべて選んでください。【複数回答】

N=43	n	%
人手不足解消	41	95.3
事業の継続	8	18.6
多様性推進	8	18.6
人件費の圧縮	4	9.3
専門知識・技術活用	2	4.7
その他	1	2.3
全体	64	-

Q12 外国人材を雇用するときに直面した課題をすべて選んでください。【複数回答】

N=43	n	%
雇用制度や在留手続の理解・負担	32	74.4
採用コスト	30	69.8
教育・育成負担	26	60.5
事業所内での理解促進	16	37.2
事業所内の担当部署との調整	5	11.6
特に課題はない	3	7.0
その他	1	2.3
全体	113	-

Q11 外国人材を雇用した効果をすべて選んでください。【複数回答】

N=43	n	%
人材確保の安定化	37	86.0
勤務体制の改善(シフトや休暇など)	16	37.2
職場の雰囲気の活性化	13	30.2
特に効果は感じていない	1	2.3
新規事業の展開	1	2.3
全体	68	-

Q13 現在、外国人材を雇用している上での課題をすべて選んでください。

【複数回答】

N=43	n	%
コミュニケーション	27	62.8
生活支援	20	46.5
離職防止	17	39.5
職場環境	13	30.2
研修機会	7	16.3
特に課題はない	5	11.6
その他	2	4.7
全体	91	-

Q14 雇用している外国人材に対する働きやすい職場環境を作るための取組や、業務を円滑に進めるための取組の実施状況について、あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=43	n	%
生活支援を行っている	26	60.5
社員同士の交流イベントを実施している	18	41.9
通訳者・翻訳アプリなどを活用している	17	39.5
採用時のオリエンテーションや研修を実施している	16	37.2
社内研修や勉強会で日本語教育の機会を提供している	10	23.3
宗教・文化的配慮を行っている	10	23.3
マニュアルや業務指示を多言語化している	10	23.3
外国人材向け相談窓口を設けている	3	7.0
日本人社員向けに異文化理解などの研修を実施している	2	4.7
その他	1	2.3
全体	113	-

Q15 雇用している外国人材に対する生活支援の実施状況をすべて選んでください。【複数回答】

N=43	n	%
住宅支援	36	83.7
病院や買い物等への同行	29	67.4
生活相談	26	60.5
レクリエーション	14	32.6
外部委託	6	14.0
特に支援なし	2	4.7
その他	2	4.7
全体	115	-

Q16 日本語教育の実施状況について、あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=43	n	%
自習	29	67.4
社内実施	11	25.6
外部委託	11	25.6
特に実施していない	7	16.3
市内の日本語教室	3	7.0
その他	3	7.0
全体	64	-

Q17 外国人の日本語教育に関して今後どのような支援が必要だと考えますか。あてはまるものをすべて選んでください。【複数回答】

N=43	n	%
学習者の日本語教育にかけるための助成金	22	51.2
教材の作成や配布	19	44.2
日本語教室の情報提供や拡充	19	44.2
オンライン通信に関する支援	18	41.9
学習者の送迎に関する支援	11	25.6
外国人担当者向け研修会	9	20.9
他団体との連絡強化	4	9.3
その他	1	2.3
全体	103	-

Q18 今後の外国人雇用の予定を教えてください。【単一回答】

N=43	n	%
増やす予定	15	34.9
現状維持	20	46.5
減らす予定	4	9.3
未定	4	9.3
全体	43	100.0

Q19 外国人材1人あたりの雇用期間について、最も希望に近いものを選んでください。【単一回答】

N=43	n	%
3年以内	9	20.9
5年以内	16	37.2
10年以内	1	2.3
できるだけ長期間	17	39.5
全体	43	100.0

Q20 市に行ってほしい取組をすべて選んでください。【複数回答】

N=43	n	%
日本語教育	25	58.1
住宅・生活支援	24	55.8
生活支援の相談窓口設置	17	39.5
雇用支援の相談窓口設置	11	25.6
外国人材を雇用している事業所のネットワークづくり	9	20.9
特にない	6	14.0
その他	2	4.7
全体	94	-

Q21 人手不足に悩んでいる他の事業所に対して、外国人材の雇用をおすすめしたいと思いますか。【単一回答】

N=43	n	%
思う	14	32.6
やや思う	12	27.9
どちらともいえない	16	37.2
やや思わない	1	2.3
思わない	0	0.0
全体	43	100.0

Q22 その他の意見・要望があればご記入ください。(任意)【自由記述】

- ・弊社漁網修理工場では外国人材を雇用できないと人材派遣会社より言われております。雇用できるようにしてほしい。(漁業・100人以上)
- ・青森県の魅力があれば、関東に行かないのかなと少し思います。外国人だけではなく。(福祉・介護・50~99人)